

とらみ



市議会だより

柵津小歌舞伎クラブ

(柵津健事神社御柱奉納歌舞伎)



第1回定例会	2P
総括質疑	3~4P
予算特別委員会審査報告	5P
常任委員会審査報告	6~7P
代表質問	8~11P
個人質問	12~15P
可決した条例等	16~17P
全員協議会だより	18P
議会のうごき	19P
私の一言	20P

Vol.25
2010 5/1

平成22年 第1回定例会



22年度予算の採決の様様

9日は本会議が開かれ、平成21年度各会計補正予算に対する質疑討論が行われ原案通り可決されました。

3月4日から8日までは各会派の代表質問と一般質問が行われ、それぞれの質問に市側から答弁がありました。

25日に開かれた全員協議会においては、助産所の進捗状況など各部の重点施策の説明を受け、疑問点に関する質疑応答が行われました。

22年度東御市一般会計予算、平成21年度各会計補正予算、教育委員の任命、公平委員の選任、条例議案、陳情など35件の議案が上程され、それぞれの提案説明を受けました。

開会日には会期の決定、諸般の報告、市長の施政方針が示され、平成22年度東御市一般会計予算、平成21年度各会計補正予算、教育委員の任命、公平委員の選任、条例議案、陳情など35件の議案が上程され、それぞれの提案説明を受けました。

平成22年度第1回定例会は、2月23日から3月19日までの25日間の会期で行われました。

平成22年度一般会計予算129億3800万と各会計予算を原案通り可決

本年度の予算は、厳しい経済状況の影響を考慮し、歳入では市税、交付税の堅実な見込み額を計上、また、歳出では経常経費の抑制、懸案事業や重点施策、重点事業を精査した中で、メリハリのある予算とし、称津保育園の改築事業費や子ども手当費を含む民生費が40億6359万円(31.4%)で、昨年に続き歳出の構成比率のトップとなっています。市議会は、本会議、委員会等で審議を重ねた結果、付帯意見を付して、原案通り本年度予算を可決しました。

引き続き平成22年度東御市一般会計予算と条例議案等の質疑が行われました。

13名の予算特別委員会が設置され、平成22年度予算に関する議案が付託され、その他の議案に関しては各常任委員会に付託されました。10日から12日まで、各常任委員会

が開かれ、それぞれ議長より付託された議案について、担当部局の職員より、詳細な説明を受け、慎重審議を行いました。委員会最終日には関係施設等の現地視察を実施、現場での詳細な説明を受けました。

15日には予算特別委員会が開かれ、各常任委員会より予備審査内容と付帯意見の報告が行われ、審議の結果、予算特別委員会として可決すべきものとし、付帯意見を付して本会議に報告する結論となりました。

議会最終日に向けて各委員会の正副委員長会議が行われ、19日の議会最終日の本会議において、各委員長は報告と、それに対する質疑が行われ、上程された全議案に関して、原案通り可決しました。

平成22年度一般会計予算の主な内容 (単位:万円、1万円未満四捨五入)	
項目	金額
舞台が丘整備基本設計委託料	1,280
有線テレビ事業デジタルチューナー購入費	1,449
航空写真撮影業務委託料	800
子ども手当費	5億6,121
滋野児童クラブ室整備工事費	1,000
病児・病後児保育事業費	373
称津保育園改築事業費	3億8,576
海野保育園施設整備費	1億1,736
新型インフルエンザ予防接種委託料・補助金	719
ヒブワクチン接種補助金	156
身体教育医学研究所補助金	560
サンファーム管理事務所改修工事	980
ふるさと雇用再生特別事業委託料	1,081
重点分野雇用創造事業委託料	3,000
地域活力基盤創造交付金事業(田中・称津線道路改良)	2,100
北御牧地区排水路整備計画策定委託料	350
上田バイパス対策費	510
加沢部消防詰所新設工事補助金	416
緊急告知ラジコ端末整備委託料	4,675
文化会館駐車場整備事業	4,549

総括質疑

～こんな点は、どうなっているか～

市から予算案や条例案などが提案され、代表質問、一般質問に引き続き総括質疑が行われました。総括質疑では全体的な質問が出されました。その主な質問について紹介します。

■平成21年度一般会計補正予算

問 職員の退職手当の増額補正ですが、早期退職と定年退職の方がいると思いますが、その状況は。

答 当初予算では定年退職者を想定するわけですが、途中退職者も若干あります。今回は当初8名の予定であったものが6名増えて、14名になったため補正をお願いしたものです。

問 土地開発公社の土地を買い戻すメリットとデメリットは、また今後その土地の管理についてはどのようにしていくか。

答 メリット、デメリットというより、委託先である市が買い取るのが本来の筋であると考えます。管理に関しては、一般会計で管理し必要に応じ売却していきたいと考えております。

問 住宅手当の緊急特別措置事業のほとんどが減額になっていますが、実際に何人の方が利用されたのか。

答 当初、国や県の試算を参考にし、41名分を計上しました。広報等でも周知しましたが、現在のところ1名の方が受給の対象となっています。

平成22年度一般会計予算

問 税収が大変厳しい状況の中、市民税38億2410万1000円の中で、滞納繰越収入予定分が3010万円ありますが、この収納率を上げていく方法について、滞納額の総額はいくらになっているか。

答 納税者と話をし、計画的な納税をお願いしていく努力をしていきます。また、滞納繰越額に関しては、20年度の決算額で2億8734万8000円となっております。

問 メガソーラー基礎調査委託料が65万円計上されていますが、代表質問では電力会社と共同開発する方法と、30kw程度の太陽光発電を30基ぐらい造って1000kwにする方法があると言われましたが、この内容について。

答 メガソーラーに関して、電力会社との共同開発を踏まえて適地や条件についての調査をしていきたいと考えております。もう一つは、国が現在予算化をしています社会システム枠を利用できないかと検討しております。これは、民間事業者が設置した場合は国の補助率は3分の1でありませんが、行政と民間事業者合わせて1000kwのメガソーラーの場合は社会システム枠の制度で2分の1の補助が受けられます。

問 保育所の運営事業費の中で、臨時職員賃金が前年対比1280万円増えていますが、臨時職員数が増えたためなのか、処遇改善に伴うものなのか。

答 今回増額の1000万円ほどについては、人員の増というだけで計画しています。6月から産休の職員が2名予定しており、未満児対応の職員を6月から1名、10月に1名、11月に1名を予定しているためです。

問 海野保育園の改築事業費で、県の補助金を含めて1億1735万5000円計上されていますが、改築場所、規模、施設内容と、全体の補助率は。

答 改築場所は、現在の園庭に建設する計画で、総事業費は1億6600万円ほどを予定しております。そのうち補助対象事業費が1億5647万円ありまして、2分の1が県の補助金であり、そこに市から4分の1を上乗せし、基準事業費の1億6647万円に4分の3を補助することになります。施設の概要は、一部2階建て、延べ床面積708㎡の予定で、0歳児室、1歳児室、2歳から5歳までそれぞれ1部屋ずつ、そのほか一時預かり保育室、病児保育室、遊戯室を予定しております。

問 田中小学校の耐震補強工事で500万円計上されています。その設計委託料ですが、当初予算には880万円計上されており、3月補正で290万円の減額が認められました。結果590万円の設計委託料となりますが、工事費の500万円に対し、設計委託料が高いと感じるのですが。

答 耐震診断の結果、IS値が0.7以上あり補助対象工事になります。ただ、危険箇所があるとして診断を行った、管理等と特別教室等の耐震診断費が590万円の内、540万円ほど含まれております。

問 コミュニティー放送が会社設立後に増資をする予定とのことですが、1口5万円を一般市民が協力しやすい安い金額に出来ないでしょうか。

答 株式会社の設立時に決まっているので、1口当たりの金額の変更はできません。

問 来年3月農業委員の選挙が行われます。現在の女性委員は議会推薦の2名だけですが、男女比について市はどのように考えているか。

答 農業委員は公職選挙法によつての選出と、各種団体等の推薦で構成されております。男女比に関しては今後の課題と考えています。

問 新図書館整備計画検討懇話会の委員が10名で構成されるとのことですが、委員の公募は考えているのか。

答 委員はそれぞれ専門的な立場の方を予定していますが、公募についても前向きに検討して行きたいと考えています。

問 移送サービスの予算が減額になっています。実情に合わせてのとことです。障がい者の皆さんが利用しやすいようもつと啓蒙をするべき

と思うが。

答 このサービスは登録制となっております。現在12名の方が登録をしており、6名の方が利用をしています。

問 家庭児童相談員の方の仕事内容はどんなものか、また1年間で訪問事業はどのくらいあったのか。

答 現在週3日の勤務をお願いしており、20年度は総体で115件の相談がありました。

問 女性のがん検診を、国の方針にかかわらず残りの3年間も是非継続していただきたいのですが。

答 市民病院でも体制が整っているので、今後も勧奨していきたいと考えています。

問 現在奨学金を貸付けている医学生は何人いるのか、最短で市内の病院へ勤務できるのは何年先になるか。

答 現在、21年度の貸付が4名、本年度1名で5名となります。勤務については、最短でも10年くらいはかかってしまうかと考えます。

問 市内の温泉施設の利用状況と経営状況、施設の将来的な面について。

答 4施設合計で7万8038人、前年比3069人の増となっております。経営状況は、燃料費の高騰や客単価の下落などで厳しい状況が続いています。

問 22年度から支給される子ども手当を、学校給食の未納部分に充てることは可能か。

答 現在国でも検討課題であるとの回答をいただいております。検討中ということでお許しいただければと思います。

問 伊勢原住宅団地が建設される予定ですが、いつごろ入居できるのか、家賃の設定はどのように考えているか。

答 今年度中には建物を完成させたい。家賃設定は国の家賃設定基準の計算式によつて、5年間の経過措置をとり、設定家賃にしていく考えです。



予算特別委員会審査報告



予算特別委員長
清水新一 議員

本委員会は、3月9日に付託された平成22年度東御市一般会計予算案について、各常任委員会の予備審査結果に基づき3月15日に審査した結果、全会一致により原案を可決すべきものと決定しました。

なお、原案を可決するにあたり次の意見を付することにしました。



賛成討論の様様

【付帯意見】

舞台が丘整備をはじめ、保育園改築、大規模道路整備等の大型事業が本年度から本格的に始動する。

各事業の計画、将来的な財政計画等、市民に対して情報をわかりやすく開示し、市民の声を聞き、市民が不安を感じることなく、喜び、誇れる東御市を実現すべく努力されたい。

22年度一般会計の採択にあたって

賛成討論

井出 進一 議員

この不況下における市政に対しては、市民の安全・安心な暮らしの確保を第一に据え、市民の幅広い要望に答えつつも、財政の健全化を維持するという難題に取り組む強い気持ちで期待されます。

新年度予算における自主財源は、不景気下による市税の減収にはじまり、6億5000万円程の減少となっているが、依存財源の増加により、歳入総額を129億3800万円としているものの、依然として厳しい財政状況であることに変わりはありません。

このような中で、市長の公約である福祉医療費を中学1年生まで拡充、コミュニティ放送局施設整備・開局準備補助金の拡充、中小企業振興資産等預託金の拡充、また、新規事業として子ども手当費、緊急告知ラジオ端末整備委託料、舞台が丘整備基本設計委託料、祢津保育園改築事業費、公営住宅建設事業費、まちづくり交付金事業等、多種多様な事業が計上されています。

まさに、市長の施政方針で政策展

開の柱に据えた、▽持続可能な美しいふるさとづくりの推進、▽「後期基本計画の具現化」、▽地域力、市民力を生かした東御市づくりの推進の目的である、魅力ある「美しいふるさと東御」、「住みたいまち、働きたいまち、行ってみたいまち」東御、「小さくともキラリと光るまち」の実現のために欠くことのできない重要かつ早急な対応が必要となる事業であります。

また、予算区分に占める民生費の割合が最も高いことからもうかがえるように、市民が安全・安心に生活できる生活基盤の醸成に配慮した予算です。

したがって、予算特別委員会の付帯意見でも述べられているとおり、事業執行は、適正かつ俊敏に行われるよう努め、行政の職員が一丸となることはもとより、市民の声に耳を傾けた市民との一体的な事業運営がされ、その効果が市民の皆様の目に見え、市民が満足感、喜びを感じられるよう要望し、賛成討論とします。

常任委員会審査報告

舞台が丘整備等

市民への情報公開を

本委員会は、3月10日11日及び12日に、付託された条例案5件、陳情1件の審査、及び一般会計予算の予備審査を行い、後に現地調査を行いました。

条例案では、「東御市資料館条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例」「東御市地域情報交流施設条例の一部を改正する条例」「長野県市町村自治振興組合を組織する市長村数の減少について」「東御市職員定数条例の一部を改正する条例」「東御市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」の審査を行い、全会一致で可決すべきものと決まりました。

陳情では、「政治資金規正法の制裁強化を求める陳情」を審査し、継続審査となりました。

平成22年度一般会計予算の予備審査では、所管事項に関する審査を行いました。本委員会としては、経済状況の好転が近いとは言いがたい中で、税収減への対応や、収税に対する懸念等が話題となり、きめ細やかな対応を求める事が要望されました。また、舞台が丘整備等に関して、今後も市民への情報公開を進め、市民の意見が反映された整備を求める事が話題となりました。

総務

柵津保育園と海野保育園の改築事業を実施

本委員会は、3月10日、11日及び12日に平成22年度一般会計予算案の所管事項の予備審査と特別会計予算案5件、病院事業会計予算案、条例改正案5件、陳情3件についての審議を行い、その後現地調査を行いました。

一般会計では、新規事業として柵津保育園の改築工事・仮園舎建設・解体工事費や、私立保育園改築事業補助金（海野保育園）、滋野児童クラブ室改修事業（設計委託料・工事費）などが予算化されました。なお、柵津保育園の仮園舎については、建設費の一部が昨年12月議会の補正予算で可決され、すでに建設工事が始まっています。

病後児保育は、海野保育園に委託されますが、保護者に海野保育園まで送る負担があるのではないかとの質問がありました。これに対し、各保育園に病後児の部屋がない、他の園児との隔離ができない状況にある、各保育園の改築にあわせて病後児専用の部屋を整備していきたいとの回答でした。

特別会計予算案5件、病院事業会計予算案、

社会

安全・安心なまちづくりに向け 施設整備・改修すめられる

本委員会は、3月10日から12日、平成22年度一般会計予算の所管事項につき予備審査と付託された議案3件および陳情2件について審査をし、予算該当箇所については現地調査も実施した。

商工観光課では海野宿駐車場の利用状況の推移を含めた海野宿の観光についての質問がされ、最近の観光客の志向が観光バスによるものから個人での小旅行へ移行したことも駐車場利用率が減少している一因と考えているとのことであった。

また、御牧乃湯施設全体改修工事実施設計について、利用者の要望をどう取入れるかの質問に対し、施設の意義等を勘案し、利用者の思いに沿うものになりたいと



田中 - 柵津線舗装修繕工事を視察

産業



梅野記念絵画館にてオーケストリオンの説明を受ける

更には、大型事業が進む事により、将来的な財政の健全な体制について市民の不安があるとすれば、しっかりと説明し、財政計画の健全性を説明することも重要であることが話題となりました。

現地調査では、東部中学校を訪問しました。東部中学校は、22年度創立50周年を迎え、市からも記念事業への補助金が支出される事から、事業内容の説明を受けました。そして、各教室に大型テレビが配備された事もあり、各教室において授業の様子も参観しました。

その後、梅野記念絵画館において貴重な古楽器として評価のあるオーケストリオンの修理について現地で説明を受けました。

条例改正案5件については、可決すべきものと決定しました。

陳情第21号は不採択すべきものと決定。審議経過では不採択すべき意見として、東御市においては低所得者の負担軽減を図るために22年度から7・5・2割軽減を導入する予定になっていること、国保への国の負担を増やすことは、結果的に国民全体の税負担が増えることになる等の意見が出されました。一方、採択すべき意見として、東御市においては7・5・2割軽減を導入することになっているが、全国の市町村の中には導入しないところがある。すべての市町村国保で導入するよう国へ意見書を提出すべきとの意見が出されました。採決の結果、採択に賛成少数により、不採択すべきものと決定。陳情第23号は採択すべきものと決定され、陳情第20号は継続審査となりました。



柵津保育園の仮園舎建設工事を視察

現地調査では、一般廃棄物最終処分場、滋野児童クラブ室予定地、柵津保育園仮園舎の建設現場、そして完成間近な「助産所とうみ」の内部を視察しました。

の説明があった。

農林課では、松くい虫防除対策事業が樹種転換へ一本化される理由として、局所の対応でなく、松林全域を見据えた効率的な整備が必要であるためとの説明があった。

農産加工品ブランド化計画策定については、「味の里とうみ」の加工品について、地産地消アドバイザーの藤木徳彦氏にアドバイスを頂戴し、地元農産物のブランド化を図りたいとの考えが示された。

建設課では、ストック総合改善事業のデジタル化対応工事において、対応出来ない施設についての調査につき質問をし、北御牧地区はケーブルテレビのチューナーで対応可能と考えているとのことであった。

公営住宅長寿命化については、計画により耐用年数は決まっているが、そのために計画策定をするものであるとの回答があった。

水道事業会計および下水道事業会計においては、景気の低迷や節水意識の向上等の理由により、給水収益も減少しているが第一の目的である安全・安心の確保、安定供給に努める中で、加入率の更なる向上と経営コストの削減に努めるよう要望した。

議案3件は、全会一致で可決すべきものと決定された。

また、付託された陳情第22号は不採択すべきものと決定し、定例会最終日に追加上程された陳情第25号は、当市としても今後の農業農村の維持発展および食料自給率の向上に必要不可欠との意見のもと、全会一致で採択すべきものと決定した。

一般質問は、とうみケーブルテレビおよび上田ケーブルビジョンで中継してまいりますので、ご覧ください。

市政

を問う

本定例会の一般質問は、3月4日・5日・8日の3日間にわたり行われ、代表質問は、5会派の代表5人の議員が、個人質問は7人の議員がそれぞれ行った。要約してお知らせします。

会派代表質問

代表質問項目

清和会(堀 高明)

- ・ 施政方針と財政見通しについて
- ・ 昨年実施された定額給付金、プレミアム商品券の経済効果と経済促進対策について
- ・ 市政運営の成果と課題について

さわやかな風の会(石和 大)

- ・ 平成22年度施政方針について
- ・ 子どもたちの未来について
- ・ 市民病院、助産所、社会福祉の対応はどうか
- ・ 教育問題、文化、スポーツ政策はどうなっているか
- ・ 生活に潤いをどうつくっていくか

のぞみの会(櫻井寿彦)

- ・ 市長の市政運営の在り方について
- ・ 地球温暖化対策地域推進計画について
- ・ 「くるみ」の振興と新たな観光スポーツ整備構想について



清和会 議員
堀 高明

問

施設方針と
財政見通しについて

財政面では長期的で
安定した市政運営が図れる

問 4万人が暮らす元気なまちづくりについて

市長 平成19年以降、転出者は転入者

を上回っている。また死亡が出生を上回る自然減の状況である。転入転出者共に20歳から39歳の方の移動が多いと

いう状況の中で、都市圏域の青壮年期の若者を対象としたITターン、Uターン施策を展開し、定住人口の増加を目指す。また、観光ビジョンを策定し、交流人口の増加による消費の拡大や新たな雇用の創出など、幅広い経済効果が期待される。

問 首都圏への農産物直販の具体策は、

市長 昨年から大田区内の3小学校への食材搬入も実現した。新年度にアンテナショップ開設検討委員会を立ち上

げ運営母体を組織し、大田区を中心とした首都圏での農産物、農産加工品の直販体制づくりを確立したい。

問 上田バイパスの設計協議を控えた市の対応について。

市長 国交省長野国道事務所では夏ごろには沿線地域の皆さんと設計協議に入りたい意向をもって。バイパスの取付道路については単に利便性だけではなく、周辺地域の活性化に寄与できるように接続道路の配置や方法につ

いて、新年度から専任の職員を配置し
国道事務所と協議調整をはかる。

問 消防署職員は4月より上田広域連
合へ移管される。災害発生時の指揮監
督に支障はないか

市長 市の身分を併任した広域連合の
消防職員が当該業務を行い、市の固有
事務である消防団、消防水利施設、自
主防災組織、地域災害、危機管理に関
わる業務は係長級の職員を消防署に配
置して、防災発生においても万全の体

問 高齢者の困りごとを解決する仕組
みは充実しつつあるか。

市長 民間事業者と連携して、24時間
体制で対応できる体制を構築した。

問 舞台が丘整備の中にサポートセン
ターを組み入れ、市民活動を支援する
体制を充実させてはどうか。

市長 整備の中で実現させたい。意欲
のある市民の皆さんの自立型市民活動
が充実していくことを支援したい。



助産所をサポートする地域の皆さん

制を維持していきたい。

問 積極的な市政運営をする中で財政
負担も大きい。長期財政計画の試算は。

市長 経済情勢についての見直しなど
の情報を加味し、毎年、次年度の当初
予算編成にあたり今後10ヶ年について
試算している。歳入歳出をそれぞれ一
定の条件で見積もった上で、今後の起
債残高を試算し、貯金である各種基金
の残高を見込んでいます。投資的経費の
目安となる金額を試算し予算に反映さ



さわやかな風の会
議員
石和 大

問 二年間の市政運営の
成果と課題は

答 継続事業の進行が成果、
自立型市民との協働が課題

せることで、長期的で安定した市政運
営が図られるものと考えます。

※他に次の事項について質問した
一、保育園の充実と児童館の位置づけ
について、児童クラブの設置に伴い
児童館の閉館時間を短縮した理由は
一、昨年実施された定額給付金、プレ
ミアム商品券の経済効果と今後の経
済対策について。

問 助産所は充実した人的体制でスタ
ートが切れる見通しか。

市長 10名体制で安全安心なお産を目
指す。そして、心の安心につながる子
育てや親自身の成長を地域で支える場
として充実させたい。

問 小児科の実現はどう図るか。

市長 設置者として市長の責任を持つ
て、先頭に立ってかかわる決意である。
問 コミュニティFMを身近なもの
としてどのように活用するか。ラジオ
端末はどのように配備し、電池の交換
等で、消防団や地域の力を活用する考
えはあるか。

市長 CMの利用料等を工夫し、対費
用効果でクライアントの納得する形が
理想である。電池交換等が必要な場合
消防団はじめ、地域の力を借りたい。

問 地球温暖化対策の東御市らしい取
り組みはどう施策するか。

市長 メガソーラーの設置と同時に民
間住宅への太陽光発電のさらなる促進
を図る。省エネに取り組む事業者への
支援も積極的にかかわっていききたい。
問 学力の向上、不登校対策にどのよ
うに取り組むか。

市長 子どもたちが親や地域に深く愛
されていると感じられる環境を整える

ことが重要である。そして、わかる授
業を通しての学力の充実が重要。

問 ネットリテラシー教育推進協議会
から、小中学生には携帯電話を持たせ
ないという提言がなされたが、市とし
て今後どう取り組むか。

教育長 学校と連携して校内への持ち
込み禁止をより周知したい。今後も協
議会と連携してリテラシー教育を充実
した形で推進したい。

問 22年度は国民読書年でもある。読
書のまちづくりを推進してはどうか。
教育委員長 物語を読んで情景を想像
する力や、心を揺さぶられる体験を読
書を通じて充実させたい。

問 読書コンクールのような、作文コ
ンクールを開催してはどうか。
教育委員長 幼少から中高大、大人ま
で、すべての年代から募集して是非開
催したい。そして、すばらしい東御市
の文化として、読書のまちと、図書館
を世間に発信したい。



上田バイパスの延伸は市の活性化に期待が大きい



公明党
依田政雄 議員

問 「子宮頸がんワクチン」
公費助成に市長の英断を
ワクチンの有効性については認識している
財布と相談しながら努力していく

問 子宮頸がんの主な原因は、ヒトパ
ピローマウイルス（HPV）の感染と
特定されている。予防ワクチンと、が
ん検診で「ほぼ100%予防」できる
そうだが。しかし、接種費用が一回1万
円以上で、3回の接種が必要で多額な
費用になる。女性の皆さんを守る観点
からも公費助成について、市長の英断
を願う。

問 今年の市予算案の重点、力点は何
か。保健、医療、福祉、教育、文化を重視
した予算か。生活の大変な市民の皆さん
への援助は具体的にどのようか。

市長 後期基本計画で新たにお示しし
た三つの重点施策、4万人が暮らす元
気なまち、安全、安心元気なまちづく
り、市民との協働による元気なまちづく
りの立場で案をつくった。保健、医
療、福祉、教育、文化を重視し、生活
保護費関連予算も増額した。

有効性については認識しているので、
財布とも相談しながら、努力していく。

財政問題について

問 法人市民税をはじめとする税収及
び地方交付税について、景気低迷、厳
しい経済状況の中での市税をはじめと
する地方税滞納対策、また、税収確保
に向けての取り組みはどうか。

市長 個人市民税は減収の見込み、法
人市民税は減収と予測している。税収
確保に向けての対策については、現年
度課税分の収納率の向上を図りながら、
滞納者の実状調査をさらに進め、拒税

力を見極めた上で、必要に応じ滞納処
分の執行停止や、不納欠損処分を行
いながら、公平、公正な徴収を図って
いく。

**市民への情報提供と情報格差の
ないコミュニティFMの取り組
みについて**

問 コミュニティFMは災害時に強い
情報媒体であるが、障がいを持った市
民の皆さんへの情報提供はどのよう
に行うのか。

市長 障がい者への緊急時における情
報伝達手段として、現在考えている手
法でカバーできない部分に関する告知
方法ということに関しては、検討して
いく。

※他に次の事項について質問した。
①若者が定住する住宅環境の整備と、
子育て環境の整備の取り組みにつ
いて。



日本共産党
小山義明 議員

問 2010年度の予算の
重点、力点は何か

答 保健、医療、福祉、教育、文化
を重視している

東御市の産業経済は発展しているか
問 市としての雇用対策はどうか、失

業、不安定雇用の状況はどうか、その
対策は。耕作放棄地の救済対策はどの
ように進めるか。観光地づくりにつ

てどのように考えているか。

市長 雇用対策は、国の雇用対策を受
けて、緊急雇用創出事業などいくつ
か行っている。耕作放棄地対策は、JA、
農業委員会などと連携して取り組ん
でいる。観光地づくりについては、繰
返し訪れたいような観光地づくりに
取り組んでいる。

**市民病院、助産所、社会福祉の
対応はどうか**



緊急告知FM放送受信機(イメージ)

- ② 住宅用火災警報器の普及状況とその
取り組みについて。
- ③ 不登校等「中一ギャップ」解消への
取り組みについて。
- ④ 観光ビジョン策定の内容について。

問 安心できる保健、医療、社会福祉づくりはどこまで進んだか。まちぐるみの健康づくりはどうなっているか。福祉のまちづくりは、どこまで充実してきたか。

市長 平成16年度に策定した第一次東御市総合計画に基づき、それぞれ施策を展開してきた。安心できる保健医療、社会福祉の体制づくりについては、市民が自らの意思により選択し、利用することのできるようサービスの充実を

図っている。

教育問題、文化、スポーツ政策はどうなっているか。

問 学校教育は、どこを重点に取り組んでいるか。社会教育の状況はどうか。力点はどこか。子どもたちを交通事故、犯罪からどう守るか。

教育長 22年度の力点は学力の向上と家庭、学校、地域が協働して生活習慣の改善に市ぐるみで取り組みたい。更

にあいさつをしよう、本を読もう、汗を流そう、テレビのスイッチを切るうである。そして「ちよつと待つてケータイ」運動を進めている。また家庭では、十分な睡眠、家族団らん、早寝早起、朝ごはんなど基本的な生活習慣の確立などを中心に進めていきたい。
※市として、就活支援、婚活支援、高齢者、障がい者支援などどうやっていくか質問した。



22年度の力点は学力向上と家庭、学校、地域の協力による生活習慣の改善



のぞみの会 議員
櫻井寿彦

問 市長の市政運営について「安心と信頼」される助産所に五つの安心で「あつてよかった」といわれる助産所を目指す

問 待望の市立「助産所とうみ」が開所される。スタートが大切。信頼される助産所になってほしいと考えるが。

市長 お母さんが中心の「安全で安心」なお産を最優先に考えている。緊急時の支援体制として信大、県立こども、佐久総合、篠ノ井総合病院などの協力を得て助産所としての役割を果たす。①常勤の産科・小児科医師がいる、②助産師が寄り添う、③お産のスタイルの選択、④家族と過ごせる、⑤心の安心の子育て、の五つの安心で、「あつてよかった」といわれる助産所を目指したい。

問 保育園の位置選定は非常に重要な問題であり、慎重さが特に求められる。田中保育園について多方面からの深い議論がされたか。

市長 改築検討委員会の「駅南口」候補地の結果は最大限尊重するが「案」である。市としては費用対効果、アクセス、開発の可能性等検討し、住民の意見を聞き最終決定したい。

問 田中駅南口地域振興計画のパブリックコメントが実施された。応募数と意見に対し振興計画への反映は。

市長 103名の方から応募され、田中保育園移設に関して多くの意見が寄

せられた。田中保育園は振興計画とは切り離して検討していく。

メガソーラ発電の具体的な内容は

問 地球温暖化対策推進計画が策定され、計画には平成32年度までに17年度対比で温室効果ガス30%の削減目標が掲げられた。非常に高いハードルと考えられる。また、メガソーラ発電に65万円が予算化された。具体的な内容は。

市長 削減目標は非常に高いハードル



開所間近な「助産所とうみ」の個室内部

と認識している。それだけ深刻な問題であり市民一人ひとりの意識改革が求められる。メガソーラ（1kw）は行政と事業者と連携した社会システム枠での構築も一つの手法。電力会社への誘致も検討したい。その調査費である。

新たな観光スポット「くるみパーク」の整備は

問 東御市のくるみは生産量で日本一、品質は世界に誇れるブランド力を持っている。食べ、味わい、販売、観光を有機的に結び付け新たな観光スポット「くるみパーク」を整備し、全国への情報発信の基地としてはどうか。

市長 くるみの需要は更に増加が予想される。生産量の増を最優先に取り組み、優良品種の保存と栽培技術の継承を目指す。「くるみパーク」は、食もあわせた観光面での展開が期待できる。名実ともに「日本一のくるみの里」づくりに取り組む。

個人質問

個人質問項目

阿部貴代枝

- ・市政を執行していくための市民との協働のまちづくりについて
- ・一人ひとりの命を大切にするために
- ・障がい児の訓練や指導ができる専門の施設の建設について
- ・男女共同参画推進条例制定後の市長の推進姿勢について

若林 幹雄

- ・職を失った方に対する雇用創出や生活支援への取組みは十分か
 - ・「南口地域振興計画」は本当に市民益にかなったものか
 - ・よりよいまちづくりのために、市民参加をどう進めるのか
- 山崎美喜子
- ・舞台が丘整備基本構想について

蓮見 喜昭

- ・介護保険について
 - ・子宮頸がん予防ワクチンに公費助成を
 - ・効率的な行政の運営について
 - ・定住人口促進について
- 三縄 雅枝
- ・国民読書年の取り組みについて
 - ・子育て家庭優待パスポートの取り組み

清水 新一

- ・農林業振興について
 - ・環境対策について
- 土屋 伸吉
- ・お聞きした市民の声に市はどのように応えたか
 - ・「美しいふるさと東御」づくりの具体的な施策とは

個人質問



阿部貴代枝 議員

問 認知症の方を抱える家族の支援について

答 認知症サポーターの養成を行い地域全体で支えるシステムを構築したい

問 認知症の方を抱える家庭は、精神的・経済的・身体的負担が多いにもかかわらず、どこにも支援を求められない実態がある。必要な支援と地域の支援体制の状況をお聞きたい。

健康福祉部長 市内では、要介護認定を受ける原因疾患で認知症の割合が15・7%で一番多い。家族の負担軽減をはかるため、認知症を理解し、地域

で支え合う体制づくりに取り組む。認知症家族会の充実や認知症サポーター養成を行い、地域全体で支えるシステム構築を考えている。

問 子宮頸がんは性交渉で感染する。小中学生の年代に合った性教育をどのようにされているか。

教育委員長 各学校では、健康教育の学習の中で、学年に合った性教育を

様々な教科と連動して進めている。幼少時代から相手を思いやり向かい合うことの大切さを話している。また、思春期の微妙な心の揺れの中の性教育は大変だが、積極的に取り組みたい。

障がい児の訓練や指導ができる専門の施設を設置できないか

問 障がいがある児童等は、専門の施設がないため、市外の訓練施設等に通っている。負担を減らすため、また発達障害などが増加している現状を考えると生涯にわたり一貫した支援ができる専門施設を設置できないか。

市長 ライフステージに併せた、家庭生活全般にわたる支援の在り方を見守るセンター機能を整備したい。ただ、

基本的な体制が整わない中で施設をつくる危険性もあるので、専門性を持つ人材の確保や保育士、保健師などの育成を図っていききたい。他市の施設にお願いしている現状の中でどういう方法が可能か真摯に検討しなければならぬ。



性教育の授業の様相(北御牧中学校)

問 昨年12までの当市の生活保護受理事件数は5件と前年の半分だ。近隣3市と比べても狭き門となっている。他の市では受理者よりも申請者が多いが当市ではまったく同数だ。受理させる者にしか申請させていないのではないのか。市民の生活保護申請権を侵害していないか。



若林幹雄 議員

問 市民の生活保護申請権を尊重すべきだ

答 肝に銘じて実施してまいりたい

健康福祉部長 法に則って適切に行っており、結果的にそうなっている。それぞれの事情がある。

問 市民の生活保護申請権を尊重し、親切な応対と生活保護希望者には申請書を交付してほしい。

市長 肝に銘じて実施してまいりたい。

問 田中駅南口振興計画には南口と関係のないもの、すでに決まっているコ

ミュニティ放送局、実現性に乏しい警察署の誘致などが盛り込まれている。もっとコンパクトな計画にすべきだ。

産業建設部長 振興計画は今後のあるべき姿だ。田中駅の橋上化は沿線市町村で検討されている。東御警察署誘致は市民の悲願だ。

問 優良住宅地建設にあたっては南口周辺に限るべきではない。通学区の間

題はどうするのか。

産業建設部長 通学区の調整はこれからだ。

問 舞台が丘整備計画で住民説明会を開催してきたことに敬意を表する。今後設計段階に入る。さらに市民の声を聞いてほしい。

総務部長 検討委員会を作って取り組む。今後とも市民の声を聞く機会をつ



山崎美喜子 議員

問 舞台が丘整備よりまず暮らし応援で市民の負担軽減を

答 合併特例債で最小の負担で最大の効果が得られる

問 4年間で舞台が丘整備で25億円、保育所建設で20億円は財政的にどうか。事業や事業費がふくれあがらない計画になっているのか。

暮らしが大変な市民の声、市民の負担軽減を優先すべきではないか。市民合意はどう進められるのか。

総務部長 合併特例債の上限額を借金しても、財政の健全性は保たれる。

総事業費約25億円は概算で、最終的な事業費として確定していない。

合併特例債という有利な起債で、最小の負担で最大の効果が得られる。市民と連携して運営面も含め、意見を聞き詳細な中味を詰めていきたい。

必要な介護が受けられる
介護保険に



市役所庁舎等、舞台が丘整備の基本設計が進められる

問 認知症の支援体制はどうか。認知症、特養の施設整備はどうか。低所得者の利用料は無料にできないか。

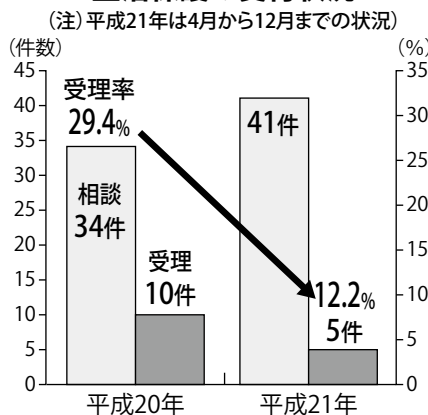
健康福祉部長 認知症については、予防啓発活動や地域全体で応援できる体制を醸成する。23年度にグループホームと特養を整備する予定である。低所得者の負担軽減は、サービスを組み合わせる利用していただきたい。

子宮頸がん予防ワクチンに
公費助成を

問 子宮頸がん予防ワクチンは、半年間で3回接種が必要で4万から6万円かかる。特に少女の接種は親の経済力や知識の格差が反映する可能性がある。市として公費助成できないか。

市長 受診率が低い婦人科検診に最大の努力をし、市がどのように方策がとれるか、国、県にも訴え行動していく。

生活保護の受付状況



くつていきたい。

問 地域における具体的合意のためのルールとして、自治基本条例を設ける考えはないか。

市長 いまのところそのつもりはない。



蓮見喜昭 議員

問

大きなプロジェクトが目白押しだが、ペースが速すぎないか

合併特例債の期限を見据え、時期に応じた事業推進である

答

問 今までの効率的な行政運営をするため、さらなる職員の削減、業務の簡素化がのぞまれるがここ数年の職員数、人件費の変化はどのようになっているか。

総務部長 東御市が発足した平成16年末には職員数は256人であったが、20年末には231人、25人の減員、人件費で2億2000万円減少した。

問 人件費が減ったとのことだが、正規職員の数が減っただけで、臨時職員の数は増えている。臨時職員の賃金は人件費でなく物件費に計上されるので、人件費減少には反映されておらず、事の抜本的解決にはなっていないのではないか。

総務部長 確かに臨時職員の賃金は人件費でなく物件費という区分である。



舞台が丘整備にあわせて図書館も改築される

16年度には額で4億3000万ほど、187人、そして20年度には約5億円、221名である。やはり最小の経費で最大の効果をあげるという中での人件

費の削減をとらえていかななくてはと考える。

問 いくら合併特例債の期限がせまっているとはいえ、市庁舎、図書館、保育園、温泉施設等の建て替えプランが速すぎるのではないか。どうしてもやらなくてはならないのか。

総務部長 時期、必要性、財源を含めた今回の実施となっている。ペースが速いとのことだが、時期に応じての事業実施であるということを理解いただきたい。

市長 市民の負担ができるだけ少なくなるように最大の努力をすることが私の責務であると思っている。※他に定住人口の促進について質問した。

で検討してまいりたい。

問 本年は国会で決議もされた国民読書年だ。読書をする事の価値は分かっているけれども活字離れが著しい。子どもたちに読書の習慣を定着させるためにも学校での朝の読書を全校で継続的にやってはどうか。また、国民参加のもとで行われる読書年祭典に合わせ、市としても行事を企画してはどうか。

教育次長 読書の重要性を十分理解し平成11年以降朝の読書に取り組んできた。21年度にも家庭の教育力向上を図る委員会が保育園、小、中協調して読書を重点に取り組む事を推進してきた。今後学校へはそういう形がとれるようお願いをしていく。読書年に合わせた市の行事としては内部でじっくり協議をし、市民の皆様の期待に応えられる



三縄雅枝 議員

問

国民読書年の取り組みについて

答

内部でじっくり協議して取り組み

子育て家庭優待パスポート事業の取り組みについて

よう頑張っていきたい。

問 市町村が18歳未満の子どもが一人いる世帯にパスポートを交付し、この事業に協賛する店舗でカードを提示する事で割引等のサービスを受けることができる事業で、県内の協賛店どこで

も利用できる。市としてこの事業に参加すべきと考えるがどうか。

健康福祉部長 子育て家庭への優待サービスが市町村の枠を越えて享受できるといふ本事業の趣旨は、子育て支援を重点施策に掲げる市としては参加すべきであると考えているが、市内の事業者の皆様の意向についても聞き、他市町の動向も見守りつつ、参加する方向



子どもたちに読書の習慣の定着を(柗津小学校図書館)



清水新一 議員

問 温室効果ガス削減目標の
具体策は

答 身近で、できることから、10年
後の削減目標を30%としたい

問 東御市の地球温暖化防止対策につ
いての考えは。

市民生活部長 地域推進計画では、事
業者、市民の活動促進の施策分類があ
り、啓蒙活動として減CO2アクション
ンキャンペーンへの参加。環境家計簿
の配布、ひとり一日1kg削減運動への
参加、とうみエコライフDAYの実践
の取り組みを挙げている。環境家計簿

は家庭で使用する電気やガス等の使用
料を記入することで、家庭からのCO
2排出量を容易に把握できるもので、
各家庭に配り、温暖化防止に向けたラ
イフスタイルの改善を市民の皆さんに
お願いしたい。

問 太陽光発電システムの設置状況と
成果については。
市民生活部長 一般住宅は平成12年度



大田区の入新井第五小学校児童の
農業体験学習の様子

から導入し、2月23日現在で316件
1252・5kwのシステムが設置され、
公共施設では中学校、コミュニティセ

ンター等で35・8kwである。削減効果
は、一般家庭で39万3911kg、公共
施設で1万1259kgのCO2が削減
された。東御市は国内でも有数の長い
日照時間と好条件の地形を生かし今後
も住宅用の普及促進を始め、公共施設
への導入や事業所と連携した社会シス
テム枠での発電システムの構築を目指
したい。

問 大田区休養村とうぶを拠点とした
滞在型農業や、小中学校での農業体験
学習を中心とした地元農産物のPRは。
産業建設部長 平成21年には小学校3
校を受け入れた。また学校給食に地元
産の米、りんごが使用された。大田区
で開催される交流事業を積極的に活用
し消費拡大に取り組んでいきたい。



土屋伸吉 議員

問 お聞きした市民の声に
市はどう応えたか

答 庁議で議論をして
行政施策に反映させている

問 市が行った説明会や懇談会、車座
集いやパブリックコメント等に寄せら
れた市民の声に対し、施策として反映
できるよう市はどのように応えたか。
総務部長 最終決定はあくまでも市民
の代表である議会の議論を経て決定さ
れるものであるが、そこに至る過程の
中で、市民から寄せられた意見や要望
は、庁議で議論をして施策に反映でき
るものは検討し、参考にしていく。

市長 個人の意見や思いは、公共性や
正義性又公平性の観点から、必要なも
のは庁議に諮り、自分が最終決定権者
として判断し、議会に提案して決定を
お願いしていく。

問 説明会や懇談会の席上、具体的に
回答されたもの以外に「検討します」

「努力します」等の回答をされた意見
や要望に対し、その後提案者や市民に
はどのように回答をしたのか。

総務部長 パブリックコメントについ
ては市のホームページで公表しており、
その他の提言や要望・意見については、
関係各部課で確認し、その後庁議に諮
り必要なものは提案者に回答し、又

「市報とうみ」にも掲載している。

問 市政方針の中にある「美しいふる
さと東御」づくりについて、具体的に
どこに重点を置いて事業計画や予算を
作成したのか。

総務部長 美しさの形成に当たっては、
ハード事業を目的でなく手段として認
識し、行政、市民、団体等の役割分担
と協働により形成されることが重要と
考える。

問 市民の声を聞き、行政に反映する
方法の一つとして「住民投票」と言う
やり方があるが、これに対する市長の
認識をお聞きしたい。
市長 合併など長期間にわたる事案に
対しては必要かと考えるが、予算執行
などに関しては、議会制民主主義の範
囲内で解決すべきであり、これは慎重
に検討すべき課題と認識している。



平成22年第1回定例会で

承認・可決した条例等

◆議案第21号

東御市職員定数条例の一部改正

22年4月1日から、消防業務の上田広域連合への統合により、市長の事務部局職員を213人（改正前243）に減員し、市民病院における人工透析業務の拡充等を図るため病院事業の事務部局職員を80人（改正前77人）に増員。また、職員数の実情を踏まえ、教育委員会の事務部局職員を33人（改正前36人）に減員し、全体で職員定数の総数を350人（改正前380人）に減員する改正。

◆議案第22号

東御市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

病院等に勤務する職員に対して支給されていた病院事業従事手当について、職の区分に応じた支給割合の見直しを行い、医師以外の有資格者の支給割合を100分の5、その他の職員の支給割合を100分の1とする改正。

◆議案第23号

東御市地域情報交流施設条例の一

部改正

平成23年7月のテレビジョン放送の完全デジタル化以降の北御牧地区におけるケーブルテレビ網及びブロードバンド環境の維持に向け、とうみケーブルテレビ加入者に係るテレビジョン放送のデジタル化を促進するため、デジタルチューナーSTB（ケーブルテレビ専用デジタルチューナー）を貸与（レンタル）方式により利用することができるとする仕組みを新たに設ける改正。貸与方式での利用料は、申込時費用が3150円で、月額使用料は無料です。

◆議案第24号

東御市保育所条例の一部改正

少子化による園児数減少の動向等を踏まえ、中央保育園と御牧原保育園を統合し名称を「北御牧保育園」とするとともに、その位置を中央保育園とするものです。また、定員は滋野90人、称津100人、和90人、東70人、北御牧120人に改正されました。（田中、西部の定員の改正はありません。）

◆議案第25号

東御市児童館条例の一部改正

和児童クラブの開設に伴い、児童館と児童クラブとのそれぞれの設置目的に沿った施設運営を図るため、和児童館の開館時間を変更する改正。学校休業日を除く平日：13時30分～17時30分（閉館時間を1時間繰上げ）、土曜日及び学校休業日：9時～17時30分（閉館時間を30分繰上げ）。

◆議案第26号

東御市福祉医療費給付金条例の一部改正

少子化社会における子育て支援を図るため、児童に対する福祉医療費給付金の給付対象年齢を現行、12歳（小学校6年生）までを13歳（中学校1年生）までに引き上げる改正。



御牧原保育園閉園式

◆議案第27号

東御市資料館条例の一部改正

海野宿に新たに玩具展示館を設置することとし、開館時間や休館日、使用料等を定めたほか、海野宿民族資料館の開館時間や休館日等を変更する改正。両施設の開館時間：9時～16時（3月～10月は17時まで）、休館日：12月21日～翌年2月末日。両施設を併せて利用する場合の使用料：一般人300円、小中学生個人150円。

◆議案第28号～29号

指定管理者の指定について

（御牧の家、憩いの家）

◆議案第30号

長野県市町村自治振興組合を組織する市町村数の減少について

◆議案第31号

長野県後期高齢者医療広域連合を組織する市町村数の減少について

◆議案第32号

教育委員会委員の任命について
岩下欣弘さん

◆議案第33号

公平委員会委員の選任について
渡邊弘文さん

◆議案第34号～36号

固定資産評価審査委員会の委員の選任について
土屋 一さん

荻原 絹子さん
田中喜美夫さん

請願・陳情等

(陳情第20号)

◆後期高齢者医療制度の廃止を求める陳情

▽陳情者 長野県社会保障推進協

議会

▽審議結果

—— 継続審査

(陳情第21号)

◆市町村国保の改善を求める陳情

▽陳情者 長野県社会保障推進協

議会

▽審議結果

—— 不採択

(陳情第22号)

◆最低賃金法の抜本的改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める陳情書

▽陳情者 上小地区労働組合連合

▽審議結果

—— 不採択

(陳情第23号)

◆子ども手当の全額国庫負担を求める陳情書

▽陳情者 人によさしい地域づくりの会

りの会

▽審議結果

—— 採択

(陳情第24号)

◆政治資金規正法の制裁強化を求める陳情書

▽陳情者 人によさしい地域づくりの会

りの会

▽審議結果

—— 継続審査

(陳情第25号)

◆農業農村整備事業の促進を求める陳情書

▽陳情者 東御市所沢川水系土地改良区・御牧ヶ原台

土地改良区・八重

原土地改良区

▽審議結果

—— 採択

本会議において採択された陳情について、関係機関への意見書の提出が議員提出議案として提案され、それぞれ可決されました。意見書の主な内容は、次のとおりです。

○子ども手当の全額国庫負担を求める意見書

政府は、2010年度から「子ども手当」をスタートさせます。その財源について、政府は当初、「全額国庫負担」と明言していたにもかかわらず、2010年度限りの暫定措置とはいえ、一方的に地方にも負担を求める結論を出しました。

しかも、2010年度における子ども手当の支給方法は、子ども手当と現行の児童手当を併給させるといふ「変則」で、極めて遺憾です。

また、地方の意見を十分に聞くこともなく決定するのは、地方と国の信頼関係を著しく損なうものであり、「地域主権」という言葉とは裏腹な今回の政府の対応は誠に残念です。よって、2011年度以降の子ども手当の本格的な制度設計においては、政府が当初明言していたとおり、全額国庫負担とし、新しい制度としてスタートすることを強く求めるものであります。

○農業農村整備事業の促進を求める意見書

本地区では、四季の変化や地形などの自然条件を活かした多様な農業を営み、食料の安定供給の確保や農業の多面的機能の保全を図るため、ほ場整備をはじめ農業用排水路整備等各種農業用施設の整備に取り組みその継続的発展に努めてきた。しかしながら、本地区の農業用施設の多くは老朽化の進行とともに、施設機能の低下は著しく、今後計画的更新が急務となっている。

加えて、農業従事者の高齢化や後継者・担い手不足に伴い、組合員の減少も相まって土地改良区自体の財政も逼迫を極め、大型事業の導入は困難な状況である。

このような状況にあつて、平成22年度農林水産省予算の概算決定額は

平成21年度予算5772億2000万円に対して、36・9%の2129億3900万円と大幅削減となる一方、水田経営を支援する戸別所得補償制度モデル対策や農山漁村地域の総合的な整備を推進するための農山漁村地域整備交付金が新たに創設されるなど、農政は大きく転換されようとしている。

農業農村整備事業は、農業・農村の維持発展並びに食料自給率の向上、以て次世代への資産継承のための社会基盤整備には必要不可欠な事業である。

ついでには、現下の財政事情等厳しい中ではあるが、政府においては以下の対策を講じられるよう強く要望する。

記

1 農業農村整備事業予算の拡充を図り、ため池・農業用排水路・畑地かんがい施設の更新など、農業生産に直接関わる生産基盤については、営農に支障を来すことがないよう計画的整備促進を図ること。

2 創設された農山漁村地域整備交付金については、農業・農村の持続的発展を図るため、その多くを農業農村整備事業へ活用され、積極的な事業展開を図ること。

全員協議会だより

全員協議会が開かれ、市づくりにかかわる重要事項について、行政側より説明を受けました。その主な項目は、左記のとおりです。

◎東御市地球温暖化対策地域推進計画について

◎助産所の進捗状況及び透析室の増築について
『助産所とうみ』は4月22日オープンしました。現在80名の予約があります。

透析室は、鉄筋コンクリート2階建てでベット数は17床（個室は2床）、患者控室、患者更衣室、調剤室などを現在の病院西側へ増築予定です。

◎子ども手当について

今年度は、子ども一人につき月額1万3千円で、支給月は6月、10月、2月で中学校修了までの児童に支給します。

◎次世代育成行動計画の概要について

「次世代育成支援対策推進法」に基づき、平成17年3月に「東御市次

世帯育成支援対策行動計画（前期計画）を策定し、子どもの健やかな成長と子育てを支援するための施策を推進してきましたが、前期計画期間が満了するにあたり、社会情勢等の変化はもとより、子どもと子育て家庭を取り巻く現状・意識や前期計画の進捗状況等を十分踏まえ、次代を担う子どもと子育て家庭への支援を総合的・計画的に推進することを目的として、後期計画を策定します。

◎CATV事業におけるデジタルチューナーレンタル事業について

◎国民健康保険税の7・5・2割軽減の実施について

◎上田地域広域連合消防本部の一本化について

上田地域広域連合消防本部は、平成10年4月の広域連合発足とともに広域行政事務組合から移行し、広域規約に基づき常備消防業務を共同処

理しています。

そのため、広域連合主導の計画的な消防体制の推進が図りにくく、市町村の財政力の違いにより消防力に格差が生ずるほか、広域連合全体としての消防施設等の計画的な整備や人事異動等による職員の適正配置が困難なため、消防本部の一本化事業を進めてきた結果、平成22年4月より実施しました。

◎サンファーム管理棟改修計画について

◎平成22年度「米戸別所得補償モデル事業」・「水田利活自給力向上事業」の取り組みについて
◎温泉コミュニケーションセンター「御牧乃湯」大規模改修工事の概要について
（施設の基本構想）

- ・建物施設、駐車場を現在の敷地、地形にあわせ有効配直する。
- ・既存建物は取り壊しのうえ、新築設計による再建計画とする。
- ・入浴施設は、男女内湯、露天風呂、サウナ、家族風呂（福祉風呂）
- ・交流スペース、農産物直売スペースを設置する。

◎緊急雇用創出事業・重点分野雇用創出事業について

◎土地開発公社の所有する公共事業

用地の買戻しについて

◎東御市土地開発公社平成22年度予算について

◎「東御市観光ビジョン」について
策定の趣旨として、観光は交流人口の増加による消費の拡大や新たな雇用の創出など幅広い経済効果に期待がされています。また、地域の人々が誇りと愛着を持てる活力に満ちた地域社会の実現をもたらす新たな地域の総合産業への転換も求められています。

策定した観光ビジョンは、観光へのおもてなしの心こそ地域の振興につながるとの認識を市民全体で共有し、市の目指す観光まちづくりの将来像と、基本的な考え方、方向性を明確に、交流人口の拡大をめざすものです。

◎「田中駅南口地域振興計画」について

田中駅南口整備、南北自由通路の完成により中心市街地と連携するエリアとして計画的、効率的な土地利用を考えていきます。

◎平成22・23年度後期高齢者医療保険料率について

◎コミュニケーション関連予算について

議会のうごき

2月	4日	川西保健衛生施設組合定例会	17日	中学校卒業式	
	9日	議会運営委員会 会派代表者会 議員研修会 木と緑のフォーラム (上田市東御市真田共有財産組合) 北佐久郡老人福祉施設組合議会運営委員会 望月警察署「皆さまに感謝する会」	18日	小学校卒業式 社会福祉協議会理事会	
	10日	社会福祉協議会理事会	19日	平成22年第1回定例会閉会 議会全員協議会	
	12日	北方領土返還要求長野県民大会 上田地域広域連合議会代表者会 佐久水道企業団議会運営委員会	20日	くるみ幼稚園卒園式 マレットゴルフ協会総会	
	15日	平成22年第1回臨時会 議会全員協議会	23日	信州東御市振興公社評議員会	
	16日~17日	会派さわやかな風の会視察研修	24日	社会福祉協議会評議員会	
	17日	北佐久郡老人福祉施設組合定例会	25日	保育園卒園式 神川沿岸土地改良区総代会 農業委員と意見交換会 第1回議会だより編集会議	
	18日	広域行政圏市議会協議会総会 エキナカピストロ試食会 土地開発公社役員会	26日	小諸市外二市御牧ヶ原水道組合議会 第4回議会報告会実行委員会	
	19日	議会運営委員会 佐久水道企業団定例会	27日	御牧原保育園閉園式 ゴルフ協会総会	
	20日	長野県縦断駅伝上田東御チーム優勝祝賀会	28日	(株)エフエムとうみ創立総会	
	21日	男女共同参画の集い	30日	みまき福祉会理事会・評議員会	
	22日	議員年金制度説明会 埼玉県北本市議会来庁	4月	2日	保育園入園式 第2回議会だより編集会議
	23日	平成22年第1回定例会開会		3日	くるみ幼稚園入園式
	24日	上田地域広域連合議会定例会		6日	小中学校入学式
	25日	議会全員協議会 第10回議会改革推進委員会		7日	東御清翔高校入学式
	26日	上田地域広域連合議会定例会		9日	第11回議会改革推進委員会
	27日	みまき福祉会理事会		10日	小諸看護専門学校入学式 聴覚障害者協会総会 部落解放同盟東御市協議会定期大会
	28日	ふれあいトロンセンター10周年記念祝賀会		11日	美都穂神社式年御柱大祭
3月	2日	上田市東御市真田共有財産組合議会定例会		12日	第3回議会だより編集会議
	4日~5日	一般質問		13日	身体障害者福祉協会総会 土地開発公社理事会
	6日	東御清翔高校卒業式 知的障害者育成会総会 小諸看護専門学校卒業式		14日	体育協会総会
	7日	湯の丸スキー大会		15日	自衛隊父兄会総会 文化協会総会
	8日	一般質問 第3回議会報告会実行委員会		15日~16日	市議会議員特別セミナー
	9日	総括質疑・委員会付託		18日	早起き野球大会開幕式 祢津健事神社御柱祭歌舞伎奉納
	10日~12日	常任委員会		19日	第4回議会だより編集会議 第5回議会報告会実行委員会
	14日	祢津健事神社式年造営御柱里曳き祭		22日	助産所とうみ・玩具展示館合同竣工式
	15日	予算特別委員会・正副委員長会議		22日~23日	北信越市議会議長会定期総会
				25日	東京北御牧会 ソフトボールリーグ戦開幕式
				29日	東町歌舞伎公演
				30日	老人クラブ連合会総会 ふれあいトロンセンター管理組合総会

議会を傍聴して



中澤 玲子さん
(加沢)

私は平成22年度、区の協議委員になりました。区では3月議会の傍聴に、区長はじめ協議委員9名が参加することになり、今回女性3名を代表し参加する機会を得ました。

私は東御市に住んでから45年経ちますが、今まで国会中継などはテレビで見ただけのもの、一度も議会を傍聴したことがありませんでした。

議場に入る前には傍聴申込書に住所と名前を記入し入場します。議場は19人の議員と、市長はじめ市の幹部職員が対面する形で席が設けられ、独特の空気に包まれた議場内は、傍聴席にいただけでも緊張するものだと思えました。

議員も質問するには、多くの資料や過去のデータなどを調べなければならず大

変さを感じました。

市の保育園改築計画の中で、私が田中保育園の移設計画を知ったのは、区民総会が初めてであり、多くの区民の皆さんはまだ知られていないような気がいたします。

市長の答弁では「田中保育園改築検討委員会の全会一致で田中駅南口が候補地に決まった」と回答されておりました。

駅南口への移設には一長一短ありましたが、「地域住民の声にもう少し耳を傾けていただきたかった」というのが議会を傍聴しての率直な感想です。

貴重な体験をさせていただいたことに感謝を申し上げペンを置きます。



あしがき

気温もあがりやると暖かい季節がやってきました。今年の冬はとても寒かった分、草木の芽吹きを見ますととても嬉しく思います。

私も議員になつてから早くも1年半ほどの月日が経ちました。

まだまだ勉強をしなければならぬことばかりですが、できるだけ多くの地域の皆様のお声を聞きながら一歩一歩前に進んでいくつもりです。さて先日今年最初の議会が終了し、平成22年度の予算が可決されました。

詳細はこの議会だよりに記してありますが、今年も東御市にとっても、さまざまな事業が、そして長野県、国政でも大きな選挙があります。

長野県では知事選挙が夏に行われます。現職の村井知事が再び名乗りをあげるのか、この原稿を書いている時点ではわかりませんが、いずれにしてもこれからの信州の未来を占う大事な選挙。

そして国政では昨年の流行語大賞にまでもなった民主党の政権交代からすでに半年以上が経過し、この夏には参議院選挙が行われます。

新聞等では連日のように鳩山政権、そして民主党に関するニュースが紙面をにぎわしています。鳩山政権が発足してからの評価がこの選挙にかかっていると言っても過言ではありません。国政の行方は我々地方自治体の今後を大きく左右すると思いますので、注目していきたいと思っています。

この議会だよりが皆様のお手元に届くのは、ゴールデンウィークの真つ最中だと思えます。

今年の連休は比較的長期休暇がとりやすい日程のようです。お休をご自愛いただき、楽しい休日をお過ごし下さい。

蓮見 喜昭

広報委員

清水 新一
依田 俊良
蓮見 喜昭
土屋 伸吉
若林 幹雄
阿部貴代枝
石和 大
三縄 雅枝
町田 千秋